

平成 29 年 7 月 小竹図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 7 月 28 日 (金) 15 時 30 分から 16 時 10 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 小竹図書館指定管理者 (ハートフルサポート共同事業体) (以下「小」)</p> <p>小竹図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ (5)</p>
内容	<p>① 職員体制・会計収支について</p> <p>(光) 電気料金が昨年度に比べて増えているが何か理由はあるか。</p> <p>→ (小) 電気料金は上がっていない。特に理由は思い当たらないが、注視していく。</p> <p>② 事業計画について</p> <p>(光) イプスウィッチ市からの寄贈資料について</p> <p>→ (小) 区と友好都市提携を結んでいるオーストラリアのイプスウィッチ市から、新たに資料を寄贈していただいた。大体二年に一回寄贈がある。イプスウィッチ資料は、書誌データを自館で作成するため、その作業に時間がかかる。今回の寄贈資料は特集展示したが、写真集や絵本は、見た目もきれいで、英語が読めない利用者にも手に取りやすく、多く借りられていた。逆にイプスウィッチ市に日本から資料を寄贈する際は、国際交流協会に選書についてアドバイスを行っている。</p> <p>(光) OPAC の使い方について案内資料を作成したとのことだが。</p> <p>→ (小) カウンターに使い方の質問に来られる方が多いので作成した。高齢の方や不慣れな方を対象とし、ボタンの配置や基本的な操作手順を記載した。</p> <p>→ (光) そうした目線は抜けがちなので、光が丘も参考にしたい。</p> <p>(光) 5 月開催の歴史講座「そば猪口と江戸文化」について</p> <p>→ (小) 江戸時代から庶民に親しまれているそば猪口について、歴史や当時の江戸庶民の粋な楽しみ方を含めて紹介した。講師は近隣の方で、前々からそば猪口を収集していることを知っていたのでお願いした。好きで始めたが背景や文化も知りたくなったとのことで、江戸の文化や文学にも絡めた話が聞けて関心を集めた。また、購入時のエピソードや講師の猪口や器を実際に手に取ることができ楽しい講座となった。会場には、江戸時代に関連する資料 31 冊を展示し、貸出を促した。</p> <p>(光) 6 月開催の時事展示「本が泣いています」について</p> <p>→ (小) 以前にも実施したことがある。利用者に本を大切に扱ってほしいという思いがあり、6 月は、雨に濡れて汚破損になることが多かったため実施した。水濡れ、食べ物による汚れ、破れ、書き込みのあるものなど、様々な汚破損資料の展示を行った。カウンター前にコーナーを設けたため、多くの方に見ていただけたと思う。</p> <p>(光) 6 月開催の「認知症サポーター養成講座」にはどういった方が参加したか。</p> <p>→ (小) 小竹図書館では高齢者向けの講座を継続して実施している。その一環として昨年度に引き続き養成講座を実施した。想定では親を介護している中高年世代が参加すると思</p>

っていたが、20代の方や高校生の参加もあった。また、実際に高齢者施設で働いている方の参加もあった。若い方にもっと参加していただけたらと思う。今後も年に2回程度行いたいと思っている。

→ (光) レベルアップした講座を受講したいとの声はあるか。

→ (小) 今のところはない。レベルを上げるより、幅広く講座を実施したいと考えており、次は、介護保険の使い方に関する講習会を考えている。

(光) 7月に「ねりま打ち水大作戦」をお昼の時間に実施する理由は。

→ (小) たくさんの人を集めるため、「夏のスペシャルおたのしみ会(児童企画)」の後に設定したため。

→ (光) 打ち水は、昼間に行うと熱気で逆効果になることがあるため、夕方を推奨している。実施の際はそのことも周知いただければと思う。

### ③ 児童サービス事業について

(光) 書架がかなりきつい状態となっている。汚破損シールが貼られた資料も置いてあるのが見受けられた。適宜、棚から抜き出してほしい。

→ (小) 承知した。

(光) 5月の時事展示「近隣の先生が選んだおすすめ本」について

→ (小) 支援校の小中学校や、隣のりっこう幼稚園、その他の幼稚園や保育園の先生に本を推薦していただき、週替わりで展示した。先生からコメントもいただき、イラスト付のポップにして一緒に貼り出した。保護者や子供からは、知っている先生が選んだ本ということもあり、好評だった。

→ (光) 事業を実施するきっかけや目的は。

→ (小) 近くの保育園の広報担当者とのつながりがきっかけとなって実施し、支援校には学校支援員を通して声を掛けた。自分たちの先生がお薦めする本ということで、子供達が興味を持ち、読書活動の推進につながればと思う。なお、学校の先生が選んだ本ということで、一般利用者の貸出も多くあった。

(光) 5月開催の「春のスペシャルおたのしみ会」は参加者が少ないようだが。

→ (小) 天気が悪かった。通常は定員いっぱいに入れ込むことが多い。

(光) 夏休み期間中の学校支援業務について

→ (小) 中学校は8月に2～4回出勤がある。8月の初めは夏休みでも中学生が来ることもあるため、夏期講習等の時に図書室も開けて使えるようにしている。この時期に蔵書点検を進める学校もある。一方、8月の後半は新学期の準備となり、展示の装飾、学級文庫の入れ替えのための選書対応を行う。小学校は、4校中3校は出勤がない。出勤がある1校は、除籍資料を棚から抜く作業となる。

(光) 本の探検ラリーは実施したか。

→ (小) 7月に中学校1校で実施し、10月に小学校2校で実施を予定している。学校の連絡協議会でもラリーの実施をお勧めした。協議会では、保護者を集めることが難しい等様々な意見があった。